

「地域コミュニティ形成事業」住民懇談会「第3回といかん本音トーク」 報告書まとめ

実施日時	令和4年3月18日(金) ①13:30~15:50 9人 ②18:30~20:30 4人
実施場所	問寒別生涯学習センター

【意見等】

○自助：団体、町内会

- ・団体継続困難：役員引き受け手、参加者不足、ライフスタイル変化等
- ・今、自ら立ち上がって行動、活動する団体、担い手はいるか？
- ・若者の意見を聞き反映してほしい
- ・役がたくさん当たる：団体等の統廃合が必要では…

○公助：町など

- ・近隣と比較すると公助が少ない：役場の限界（自律プラン、職員削減）
- ・所長のノウハウ伝承

○共助：NPO法人

- ・イメージがわからない：外部から？地域内から？
- ・リーダーは地域内からほしい、役が被るだけ？
- ・形式的な人員と実働人員
- ・産業の創出、資源（自然、林業、酪農）の活用

●NPO法人にお願いしたいこと

- ・生きがいの創出、郵便局連携、送迎サービス、サークル展覧会、公共施設の管理（生涯学習センター）、プール監視員、新聞配達、除雪、草刈り、団体活動サポート
- ・見守り：高齢者、子供（ベビーシッター）
- ・話し合いの場：アイデア、飲み会、暮らし相談所、住民を集めているいろいろな意見を聞く
- ・繋ぐ場（コーディネート）：入ってくる人と地元の思いの調整、ニーズとサービスのコーディネート、地元の主婦と繋ぐ
- ・人材派遣：地元の仕事をサポート、建設業、酪農人材派遣、働きたい人の窓口、スキルの登録
- ・幅広い内容の「ほしい」が出ると、ここを選んで来てくれる人の間口が広がる

○外部企業、団体委託

- ・引退が遅く地域活動の引き受け手がない
- ・ちょっとお願いしたい時の頼める人がいない → NPOに助っ人依頼（貴重な経験を積む場）

【次回に向けて】

- ・農繁期の本音トーク開催方法 → 雨の降ったときに、雨トーク
- ・定期的な懇談、組織、団体インタビュー
- ・NPOを作るうえで、地域の人がどう考えているのかを聞く機会
→ 月1回くらいで、どのような機能が必要か、どうしたら問寒別を住みよい地域として維持できるか
- ・問寒別のメンバーで何かしらやってみたい
- ・資源の利用：地域資源発掘の場
- ・夏は飲みながら話したい



